

市報うんなん Unnan

10
2025 No.251

特集

令和7年度中学3年生の『夢』発見ウィーク

今月の表紙：三刀屋放課後児童クラブ恒例の座禅体験（三刀屋町「梅窓院」ばいそういん）



Instagramで
市の魅力を発信中！

UNNANCITY_JAPAN



【問】キャリア教育政策課 Tel 0854-40-1074



ガソリンスタンドで教わりながら働く生徒

『夢』発見ウィークは、職場体験を通し、雲南市で生き生きと働く大人の姿に触れることで「働くとはどういうことか」を探究し、自分自身の生き方について考える学習です。
市では毎年、すべての中学校で『夢』発見ウィークを実施しています。今年度も多くの事業者の方々に協力いただき『夢』発見ウィークを実施できること、感謝申し上げます。
地域で職場体験学習をする中学生を見掛けられた際は、温かく見守ってください。

令和7年度『夢』発見ウィークに協力いただいている事業所

(五十音順、敬称略)

大東地区

(福)あおぞら福祉会 あおぞら保育園	(福)あおぞら福祉会 デイサービスセンター	阿用小学校
石原通信システム(株)	(有)板持石油	(株)植田建設
海潮温泉 桂荘	海潮こども園	海潮小学校
雲南市立病院	(有)オートボデー・ケイ	大原森林組合
(有)オダクリーニング	カットスペース まねぎ	カフェ蘭
かもめ保育園	(株)キラキラ雲南 大東公園市民体育館	GROW
(有)建人	珈琲と麵の店ふぁ〜すと	J A全農Aコープ(株)Aコープだいとう店
(株)熟豊ファーム	(株)ジュンテンドー大東店	小規模多機能型居宅介護事業所 大東ゆりさわ
(株)如水舎	造園ファーム セノオ	soraniwa 雲南出雲店
大東駅前薬局	大東こども園	(有)大東自動車整備工場
大東小学校	大東税務署	大東総合センター
大東図書館	大東保育園	通所介護事業所 おおぎ
(株)TFCメディアラボ	デイケアはまもと	DOG SALON わんだふる
(株)トヤ商事	西こども園	西小学校
ニチケアセンター あかがわ	日本郵便(株)出雲大東郵便局	(有)野々村水道
幡屋交流センター	幡屋便利軒	春殖交流センター
(特養)鯨の上園	(株)藤原茶問屋	(特活)ふれんど大東事業所 ほたるハウス
(特活)ほっと大東	ローソン 島根大東店	

加茂地区

(福)愛耕福祉会みなみかも保育園	(株)アルプロン	(株)出雲たかはし
(福)雲南市社会福祉協議会 加茂支所	加茂こども園	加茂小学校
加茂図書館	(福)かも福祉会 加茂デイサービスセンター	(福)かも福祉会 (特養) 笑寿苑
(福)かも福祉会 養護老人ホーム宇寿荘	加茂まちづくり協議会	(株)加茂遊学ファーム
(株)キラキラ雲南 加茂B&G海洋センター ラソント	(株)山光	J A全農Aコープ(株)Aコープかも店
身体教育医学研究所うんなん	スーパーセンタートライアル雲南店	多納屋noods さぶろく
(福)たんぼぼ 加茂子育て支援センター	(福)たんぼぼ たちばら保育園	(株)常松土建
TEGOYA	TOA(株) 出雲工場	日本郵便(株) 加茂郵便局
(株)ネスター	農事組合法人三代原ファーム	舟木木工所

木次地区

愛耕福祉会木次子育て支援センターくりおね	雲南市・飯南町事務組合	雲南市役所 政策企画部、建設部、教育委員会
雲南消防本部	(福)雲南ひまわり福祉会	(株)えすみ
(株)エヌウェーブ オートオアシス里方SS	(有)奥出雲葡萄園	介護老人保健施設ケアセンターきすき
柿木木工所	華羅(株)	木次運送(有)
木次健康温泉センター おろち湯ったり館	木次こども園	木次小学校
木次図書館	(株)給食雲南	(株)キラキラ雲南 チェリヴァホール
グッディー木次店	(特養)さくら苑	(有)サンコー雲南木次給油所
三新塔あさば協議会	サンセイ(株)	J A全農Aコープ(株)Aコープきすき店
(株)ジェイハウス B R M事業部	島根県雲南県土整備事務所	島根県東部県民センター雲南事務所
島根県農業協同組合 雲南地区本部	島根ダイハツ販売(株)雲南店	下熊谷ふれあい会
寺領小学校	新市いきいき会	(株)陶山建設
デイリーファッション パレット	トヨタカローラ島根(株)雲南店	西日本旅客鉄道(株)木次管理駅
西日登小学校	日本郵便(株)木次郵便局	ネットトヨタ島根(株)雲南店
パナソニック ソーラーシステム製造(株)	斐伊こども園	斐伊小学校
斐伊保育所	(有)籾上堂	フーズマーケットホック雲南店
(特活)ふれんど 木次事業所さくらんぼ	ホームプラザナフコ 雲南店	道の駅 さくらのりきすき
(特活)やわらぎグループホームやわらぎ	(特活)やわらぎデイサービスやわらぎ	ヤンマーアグリジャパン(株)中四国支社 雲南支店
八日市地域づくりの会	四ツ葉学園保育所	

三刀屋地区

ウェルネス三刀屋中央店	梅木建設(株)	雲南警察署
(一社)雲南市観光協会	(福)雲南市社会福祉協議会 デイサービスセンター みとや	雲南市三刀屋文化体育館アスパル
(株)エヌウェーブ Dr. Drive 三刀屋店	(株)光栄刺シユウ	(有)紅梅しょうゆ
就労支援事業所 しゃぼん玉工房	デイサービスセンター 陽だまりの家	(医)陶朋会介護老人保健施設 平成苑
永井隆記念館	鍋山小学校	日本郵便(株)三刀屋郵便局
日本料理 花ぶさ	(特養)梅里苑	hair room huit
訪問看護ステーション コミケア	(有)堀江クレーン	(株)ホンダクリオ島根雲南店
(有)ミーツ 美容室 T-COPAIN UN	(株)みしまや みしまや雲南三刀屋店	三刀屋こども園
三刀屋自動車工業(株)	三刀屋小学校	三刀屋総合センター
三刀屋地区まちづくり協議会	(特養)みとやの郷	三刀屋保育所
労働者協同組合 うんなん		

吉田地区

看護小規模多機能型居宅介護「とちのみ」	ケアポートよしだ 通所介護	国民宿舎 清嵐荘 (株)吉田ふるさと村
J A全農Aコープ(株)Aコープよしだ店	田井地区振興協議会	田井保育所
農事組合法人すがや	吉田地区振興協議会	(株)吉田ふるさと村

掛合地区

飯石森林組合	(福)雲南市社会福祉協議会 好老センター通所介護事業所	(福)雲南市社会福祉協議会 (特養)ホームえがの里
雲南市立病院附属掛合診療所	(有)香川建設	掛合小学校
掛合保育所 かけや夢の子園	協栄金属工業(株)	島根イーグル(株)
(福)仁寿会	(株)中澤建設	別木農園
道の駅「掛合の里」	ローソン雲南掛合店	

下記の会社種別や事業名称について、略号により記載しています。
株式会社→(株) / 有限会社→(有) / 医療法人→(医) / 一般社団法人→(一社) / 社会福祉法人→(福) / 特別養護老人ホーム→(特養) / NPO法人→(特活)

※ 上記事業所一覧は、生徒の受け入れをご承諾いただいた事業所です(生徒が活動しない事業所も含まれています)。

※『夢』発見ウィークは、来年度以降も継続します。新規事業所も募集していきますので、ご協力をお願いします。





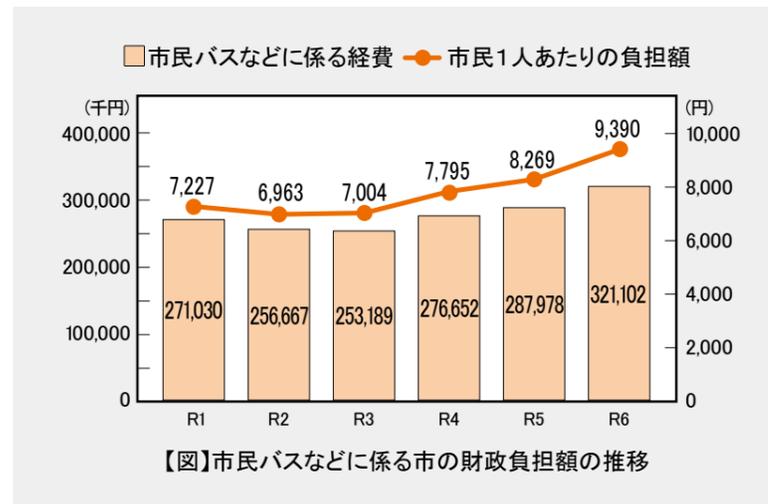
公共交通に関する新たな計画を作っています

市では、今後5年間の公共交通のあり方を定める、新たな「地域公共交通計画」の策定を進めています。この計画は、誰もが安心して移動できる、持続可能な公共交通の仕組みを作るための市の指針となるものです。このコーナーでは、シリーズ企画として計画策定の進捗状況などをお知らせしていきます。

何が起きているのか

令和6年度、市民1人あたりの市民バスとだんだんタクシー・だんだんバス（デマンド型乗合タクシー・バス）の年間利用回数は**わずか4.7回**にとどまっています。

一方で、市民バスなどの運行にかかる人件費や修繕費などの増加により、**市の財政負担額は年々大きく**なっている状況です。



市民バス、だんだんタクシー・バスの年間利用者数

約16万人

市民1人あたりの年間利用回数

約4.7回

市の財政負担額

約3億2,100万円

財政上の問題だけではなく、公共交通全体で運転手の高齢化や担い手不足など人材確保についても厳しい状況となっています。5年後、10年後も誰もが安心して買い物や通院、通学ができる仕組みを、今からつくるのが求められています。

「今は車が運転できるから大丈夫」と思われる方も、まずは現状を知り、将来のことを考えてみてください。

皆さんのご意見が必要です

難しい課題だからこそ、市民の皆さん一人ひとりの思いや考えを大切にしながら進めていきます。公共交通の未来を描くために、ぜひ皆さんのご意見をお聞かせください。

市民アンケート(実施済み)

高校生アンケート

住民組織アンケート

関係者ヒアリング

関係者との意見交換会

住民ワークショップ



各種調査・意見交換などを実施し、持続可能な公共交通の仕組みを検討していきます（市民アンケートなど、一部調査は実施済みです。ご協力いただき、ありがとうございました。）

「雲南市のバス、タクシー、鉄道をどのように未来へつないでいくのか。」一人ひとりの問いから、この計画は始まります。



市民バスの運転手を募集しています。少しでも関心のある方は、ぜひご連絡ください。



【問】交通政策室 Tel 0854-40-1014

令和7年度市政懇談会を開催しました

【問】広報広聴課 Tel 0854-40-1015

昨年度から5年ぶりに再開した市政懇談会。今年度は6月30日（月）から8月7日（木）にかけて市内6会場で開催しました。当日はメインテーマを「誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて」と題し、市長より説明を行いました。

当日いただいた意見（意見総数290件から抜粋）

メインテーマに関するもの

- 地域で障がい者への理解を広めてほしい。
- 地域で同じ方向をめざす際、世代間での意見交換や交流の機会を持ってはどうか。
- 外国の方と地域住民が普段からつながりが持てると、災害時なども安心されると思う。
- 雲南市に住む若者が今後どうしたいのか、どのようになればもっと良くなると考えているのか聞くことが重要。



説明する石飛市長（木次会場）

メインテーマ以外の地域課題に関するもの

- 人口が減り自治会機能が果たせなくなっている。それに対する具体的施策はあるか。
- 少子化にあって、小中学校の統廃合は考えられないか。
- 空き家が増えているが市としてどういう対策、活動をしているか。
- 人口減少に歯止めをかけるためには働く場所が必要。企業誘致の方針・施策について考えてほしい。
- 将来的に介護難民が生じる可能性がある。介護サービスの安定的供給体制の充実が必要。
- 脱炭素関係の事業について市民に分かりやすく丁寧に、早めに説明してほしい。



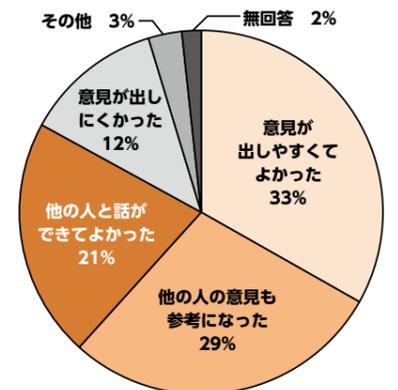
「意見・提案カード」を記入する参加者（吉田会場）

開催方法

市長からの説明後は、テーブルごとに意見交換の時間を設け、参加者は「意見・提案カード」にそれぞれテーマに関するもの、地域課題に関するものなどさまざまな意見や質問を書き入れました。カードは回収し、その場で分類した上で市三役より総括的に回答するという形式で進め、「参加しやすく、意見を出しやすく」をめざして行いました。

昨年度から開催方法を一新した市政懇談会ですが、参加者の皆さんへのアンケート結果からおおむね肯定的なご意見をいただきました。この結果も参考にして、来年度以降も若者、子育て世代、障がいのある方などあらゆる立場の方が参加しやすい市政懇談会をめざしていきます。

開催方法について



今後、当日いただいたご意見と回答を「令和7年度市政懇談会報告書」として市ホームページで公開します（総合センター自治振興課・市民サポート課での縦覧も行います）。また、回答しなかったご意見についても各部署に共有し、今後の施策に生かしていきます。



飯石から平和を 本間恵美子さん講演会

8月9日、昨年ノーベル平和賞を受賞された日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）の代表理事である本間恵美子さんを招いた講演会が、地域自主組織「雲見の里いいし」と「三刀屋如己の会」主催により永井隆博士の母校、旧飯石小学校体育館で開催され、9歳から80代までの約200人が参加しました。

本間さんは、被爆者2世であること、日本被団協で活動される意味などを話され、「多くの人々の少しずつの働き掛けが大きな力になり、やがて世界に届くはずだ」と訴えられました。



▲平和への思いを語られる本間さん

大東保育園「七夕行列」

8月5日、大東七夕まつりを翌日に控え、大東保育園の真夏の恒例行事、5歳児めろん組による「七夕行列」が行われました。

毎年、地元「北町西瓜提灯づくりの会」有志の皆さんの協力で、西瓜提灯の作り方やみこしの担ぎ方の指導を受けています。今年も有志の皆さんに西瓜提灯の張り替えをしてもらい、めろん組の園児たちが色を塗って準備をしてきました。当日は有志の皆さんや保護者も駆けつけ、園児たちは張り切って西瓜提灯を担ぎました。近所の方々も手を振って応援していました。



▲応援を受けながら園舎周辺を歩く七夕行列

東京 2025 デフリンピック キャラバンカーが雲南市に到着！

8月13日、今年11月に開催される聴覚障がい者の国際スポーツ大会「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」の啓発活動の一環として全国を巡回しているキャラバンカーが市役所に到着し、関係者らが出迎えました。

キャラバン隊の井上 隆さん(島根県ろうあ連盟長)はあいさつで、雲南市出身で走り幅跳び競技の日本代表として出場される須山勇希さんへの激励の言葉を述べました。キャラバン隊は関係者との交流のち、次の目的地である広島県に向け出発しました。



▲キャラバンカーを出迎える関係者たち

三刀屋放課後児童クラブ 「座禅体験」で精神集中

8月5日、三刀屋放課後児童クラブ夏の恒例イベント「座禅体験」が、三刀屋町の梅窓院で行われ、1年生から3年生までの約40人が参加しました。

住職の高橋睦明さんから座禅での座り方などを教えてもらうと、背筋を伸ばしてじっと心を落ち着かせて座禅を始めました。3年生の参加者は「普段こんなふうには何もしないで座っていることがないから、何を考えたらいいかわからない」と言いながらも、真剣に取り組んでいました。



▲高橋住職に姿勢を確認してもらう子どもたち

第6回みとやハンドメイドマーケット

8月17日、第6回みとやハンドメイドマーケットが地域自主組織「三刀屋地区まちづくり協議会」主催により、三刀屋交流センターで開催され、約350人のお客さんでにぎわいました。

今年は40もの出店があり、手作り作家たちの個性豊かな作品が並びました。販売だけでなく、ワークショップや飲食の出店もあり、ゆっくりとイベントを楽しむことができました。来場者からは「回を重ねるごとに店舗数も増えて、いつもわくわくする楽しいイベントなのでこれからも続けてほしい」との感想がありました。



▲多くの来場者でにぎわう会場の様子

夏休みの味方 「工作応援団」開催！

8月10日、「工作応援団」が地域自主組織「加茂まちづくり協議会」の主催により、加茂交流センターで開催されました。

夏休みの宿題にもなる工作を、楽しみながら終わらせようという意味の「応援団」で、市民活動団体「ママじかんandお父さんと一緒」の協力により20を超えるワークショップブースやフードマルシェが出店しました。会場は多くの参加者でにぎわい、親子連れや子どもたちのグループがそれぞれ作りたいものを見つけて、懸命に制作に取り組んでいました。



▲工作会場の様子

迫力の松明行列 第21回神宝火祭

8月23日、第21回神宝火祭が地域自主組織「加茂まちづくり協議会」の地元支部「神宝の郷21支部」の主催により、神原神社境内で開催されました。

祭では、神宝こどもみこし、地元スタッフや有志グループによる屋台村、アトラクションのダンスや歌謡ショーが行われ、境内は大いに盛り上がりました。暗くなると、メインイベント「松明行列」が行われ、一列に続く幻想的な松明の灯りは、最後に境内に集まり、炎の明るさに照らされながら全員で松明を掲げ、締めくくりました。



▲松明を掲げる参加者たち



▲糸かけアートを作る参加者



▲竹灯籠を作る参加者



▲遊びスペースの様子

雲南市種牛共進会 しゅぎゅう

8月27日、雲南市種牛共進会を大東畜産検査場で開催し、市内から11頭の若雌牛が出品されました。審査の結果は次のとおりです。

【特選賞】首席：青砥俊夫さん(大東町)「やすふくつる号」、次席：門脇久幸さん(大東町)「さち号」、3席：渡部彰夫さん(加茂町)「さつき号」、4席：青砥俊夫さん(大東町)「ゆり号」、5席：岡田明さん(掛合町)「ゆきたか号」、6席：藤原寛さん(吉田町)「ゆみ5号」

【部位賞】後軀の部：渡部彰夫さん(加茂町)「さつき号」



▲(特選賞首席) 青砥さんと「やすふくつる号」

雲南市子牛共進会

9月2日、雲南市子牛共進会を吉田集畜場で開催し、市内から19頭の子牛が出品されました。審査の結果は次のとおりです。

【特選賞】首席：渡部晴夫さん(吉田町)「めぐみ号」、次席：長谷川裕治さん(三刀屋町)「あさしまだ号」、3席：北尾正成さん(掛合町)「おくしまだ号」、4席：藤原豊さん(大東町)「しずか号」、5席：堀江一夫さん(吉田町)「かねひさ号」、6席：朝山猛さん(掛合町)「たけしげ7の1号」

【部位賞】資質の部：藤原寛さん(吉田町)「すみかつ号」



▲(特選賞首席) 渡部さんと「めぐみ号」

高校生の食べたいもの、集めました！

祭りだよ！全員集合～大東高校フードフェスティバル～

9月2日、「祭りだよ！全員集合～大東高校フードフェスティバル～」が大東高校学校運営協議会の主催で開催されました。

大東高校学園祭「第78回織部祭」に合わせ、学園祭に全力で取り組む生徒たちを食で応援するために企画され、9店舗が出店しました。生徒たちはブースをまわり、食べたいものを嬉しそうに買い求めていました。生徒からは「地域の方々に支えられていてありがたいです」と感想があり、スタッフの学校運営協議会委員は「子どもたちと直接関われる場にもなったので嬉しい」と話していました。



▲購入した飲み物を手にする生徒たち

加茂小3年生「ぶどう」学習

9月3日、加茂小学校3年生42人が総合的な学習の時間で、加茂町の特産品である「ぶどう」について学びました。

児童たちは加茂町三代にあるぶどうハウスを訪れ、生産者の星野和志さん(ギアファーム代表)からぶどう作りの説明を受けました。それからハウス内に散らばったキーワードを集めるクイズラリーを行い、ぶどうを育てるために大切なことを学びました。最後はお楽しみの試食タイムで、星野さんからシャインマスカットをもらい、味を確かめながらおいしそうに食べていました。



▲クイズラリーに取り組む児童たち

長年の活動に感謝 道路・河川愛護団体等表彰式

8月29日、令和7年度道路・河川愛護団体等表彰式が県庁で行われ、市内4団体が表彰されました。

「菅谷自治会」が国土交通大臣表彰を、「雲見の里いいし栗谷支部」、「丘友会」、「梅木中集落協同組合」の3団体が島根県知事表彰を受賞されました。今回の表彰は、永年にわたり河川・道路愛護活動に尽力し、その功績が特に顕著である団体を表彰するもので、地域一丸となって古くから守り受け継がれてきた地域の河川・道路の美化に取り組みされたことが評価され、表彰につながりました。



▲表彰式の様子

泥だらけの熱戦 泥んこバレー大会

8月31日、泥んこバレー大会が大東町久野地区の若者団体「久野若志会」主催により、かみくの桃源郷(大東町上久野)近くの水田で開催され、市内外から12チーム、約100人が出場しました。

10年目を迎えた節目の大会は、地域自主組織「久野地区振興会」協力のもと盛大に行われ、初参加のチームから常連チームまで、楽しみながらも熱戦が繰り広げられました。選手からは「泥んこになるのが本当に気持ちいい」、「子どもにとっても田んぼに入る貴重な機会になりありがたい」といった感想が聞かれました。



▲会場の様子



▲ネット際の攻防



▲泥の中に飛び込んだ選手



▲得点が入り喜ぶ選手たち

海潮小学校 新校舎での出発式

海潮小学校は2学期から、旧海潮中学校校舎に移転しました。これに伴い9月1日、2学期始業式と併せて新校舎での出発式が行われ、児童、教職員のほか、保護者や地域の方々に参加しました。

式では、小田川教育長のあいさつのもと、児童を代表して6年生の三ツ國 呑さんから「前の校舎にはどの場所にもたくさんの思い出があります。地域の方々との活動もたくさんしてきました。新しい校舎も大切に使い、楽しい思い出を作っていきましょう」とあいさつがあり、続けて移転に関わった全ての方々への感謝を述べました。



▲児童代表のあいさつをする三ツ國さん

雲南病院だより

お医者さんでも、迷っています 医療現場における不確実性



地域ケア科 診療科部長 笠 芳紀

皆さんは、自身や家族の体調が悪くなり病院にかかるとき、「お医者さんならすぐに病名が分かって、一番いい方法で治療してくれるはず」と期待されているのではないのでしょうか。しかし、実は医療の世界には、「どうしても」「確実ではないこと」「不確実性」が常に存在しています。私たち医師は、この「不確実性」と日々向き合ひながら、皆さんの健康な生活を支えるため、最善を尽くしています。



「不確実性」には、診断や治療そのものの難しさ(技術的な不確実性)のほかにも、人生の終え方のように「正解」がない問題、さまざまな専門スタッフと協力する中での意見の相違など、いろいろな形があります。今回はその中でも、皆さんの診察に最も関わりの深い「技術的な不確実性」についてお話します。

医師の頭の中は、まるで漫画?

皆さんは、医師が「その症状は、〇〇病ですね」「この検査結果なので、△△症候群です」というように、スパッと診断を下しているイメージをお持ちではないでしょうか。

しかし実際は、全く違います。「こんな症状が出ているけど、この病気だろうか」「この病気のなうら、あの症状もあるはずだけど...」もう少し詳しく聞いて、検査もしてみよう」というように、さまざま

なぜ「確実」ではないのか?

この「診断や治療の難しさ」には、いくつか理由があります。

言葉の壁 一症状の伝わり「へん」

患者さんからお話を聞くことは、診療で最も重要なことのひとつです。しかし、患者さんが伝える症状の表現を、私たちが正しく受け取れていない可能性は常にあります。私が雲南市に来て、今でも



完全に理解するのが難しいと感じる言葉に「せつじ」があります。救急外来でこの言葉を聞くと、息苦しいのか、胸が締め付けられる感じなのか、痛みなのか違和感なのか、いろいろな聞き方で確かめようとしますが、なかなかうまくいきません。患者さんは「とにかく、せつじ」とおっしゃり、どう解釈すればいいか、頭を悩ませることもあります。

皆さんが当たり前に使っている言葉の細かなニュアンスを、医師がうまく汲み取れないと、正しい診断に結び付かないかもしれません。

また、患者さんが「これは大したことないだろう」と思って話さなかったことの中に、診断の重要な手がかりが隠れていることもあります。逆に、本人が重要だと思っていた情報が、かえって診断を複雑にしまうケースも少なくありません。

万能な検査や治療はない ー検査と治療の限界

どんなに優れた検査でも、病気のすべてが分かるわけはありません。また、お薬などの治療も、すべての人に同じように効くとは限りません。

インフルエンザが流行する時期に検査では「陰性」だったのに、「インフルエンザの可能性はあります」と言われた経験はありませんか。インフルエンザの迅速検査は、実際に感染している10人を検査しても、陽性になるのは6人から8人程度です。つまり、感染していても10人のうち2人から4人までは「陰性」と出てしまうのです。

そのため、家族がインフルエンザにかかった後に自身も発熱した、といった状況では、「検査が陰性でもインフルエンザの可能性が高いので、お薬で治療を始めませんか」と提案することがあります。それでも、「学校や職場に証明書を出さない」と、「はっきり診断してほしい」などの理由で検査を行い、結果が陰性だと、私たちも「さて、どう説明し、どう治療しようか...」と再び頭を悩ませることにな

皆さんと共に、病気と向き合うために

市民の皆さんから見ると「万能」に思えるかもしれない医師も、日々こつこつ「不確実性」の中で、手探りで診療を行っています。この不確実性を完全になくすことはできません。だからこそ私たちは、患者さんのお話に真摯に耳を傾け、丁寧に診察し、看護師や他の専門スタッフと協力することで、思い込みや見落としを防ぎ、皆さん一人ひとりにとって最善の医療は何かを常に考えています。

病気と向き合うためには、私たち医療者と、患者さんや家族との対話と協力が何よりも大切です。これからも、皆さんと一緒に考え、歩んでいきたいと思っています。

ACPを一緒にはじめてみませんか



緩和ケア認定看護師 深田 知華

と、約70%の方が医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりできなくなると言われています。

繰り返し

考えて、話し合っ、悩んだりしながら出した気持ちでも、時間の経過や、周りの環境、状況などで変わることもあると思います。

人の気持ちは変わったり、揺らいだりするものです。だからこそ、繰り返し考えたり、話し合みましょう。そして、大切な人に伝えたり、共有したり、書き残した書面に書き加えたりする作業を繰り返すことがACPの大事なポイントです。

どうやってはじめたらよいか迷ったら

自分のもしもの時について考えてみたいけど、どうしたらいいかわからないと思われた方もあります。

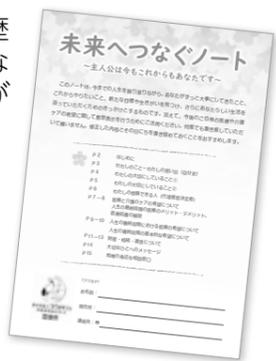
雲南市では、「未来へつなぐノート」というノートが作成されました。こちらは市役所ホームページからダウンロードできます。

医療・ケアに関すること、自分の歴史に関すること、相続に関することなど多面的に考えたり、書き残すことができる内容になっています。

住み慣れた地域で、自分らしく、できるだけ後悔なく生きるためにACPをはじめませんか。



(市ホームページ)



ACPとは

「人生会議」や「ACP (Advance Care Planning: アドバンス ケア プランニング) 以下、ACP」という言葉を聞いたことがありますか。

日本医師会では以下のように定義されています。ACPとは、将来の変化に備え、将来の医療およびケアについて、本人を主体に、その家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組みのことです。

大切なことなので、いずれは考えなければいけないと感じた方もいるのではないのでしょうか。反対に、元気なうちは考えられないと感じた方もおられると思います。

いきなり「延命治療をする、しない」、「口から食べられなくなったらどうする」というような内容から考えると行き詰まってしまうかもしれません。

まずは、自分や大切な方が生まれてから、今日に至るまでの歴史(思い出や出来事)を振り返ったり、大切にしてきたことなどを思い浮かべてみてはどうでしょう。ACPを考える時に、とても大事なポイントになります。

大切な人と共有しましょう

もしものときについて話し合ったり、自分の気持ちがある方は、ぜひ大切な人に伝えたり、共有しましょう。家族、友人、かかりつけ医など、信頼できる方などに伝えたり、書面に書き残しておきましょう。

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危機が迫った状態になる

中学生が「一日看護体験」を実施しました!

8月21日(木)に、中学生を対象に一日看護体験を開催し、今回は2人の中学生が参加しました。まず病院の概要、資格の取得方法を説明した後、各病棟に分かれて看護体験を行いました。患者さんを乗せて実際に車いすを操作したり、血圧測定体験なども行い、参加した生徒たちは「普段はできない看護体験をすることができて、とても勉強になった」、「看護師さんが患者さん一人ひとりに丁寧に接していて、すごいと思った」など、貴重な体験に目を輝かせていました。

この体験を通じて、看護の仕事への関心が高まり、「将来は人の役に立つ仕事に就きたい」と話す生徒もいました。

今後も、子どもたちがさまざまな職業を知り、進路について考える機会を提供していきます。

体験の様子▶



フォーカス FOCUS



病院では毎年さまざまな職種のスタッフが入职し、働いています。これからたくさん知識と経験を積み、雲南市立病院というステージで患者さんのために活躍していく新入職員にフォーカスし、それぞれの担当業務や仕事への思いなどを紹介します。

新入職員紹介

経営課 医事係

いわま だい 岩間 大

入社1年目



「病院の縁の下の力持ちになるために」

事務員をめざしたきっかけは?

私が病院の事務員をめざした理由は、医療関係の仕事をしている親族が多く居たため、幼い頃から医療に関心があり貢献できたら良いなと思っていたからです。また、文系の自分が最大限医療に貢献するには病院の事務職が最適だと考えたからです。

職場の雰囲気はどのようなですか?

職場の雰囲気はすごく良いです。上司や同期もすごく優しい方ばかりなので、働きやすいです。とても話やすく、分からないことがあった時に気軽に相談できる環境なので、安心して業務に励むことができます。また、同じ趣味の方も多く居るのでお話しするだけでもとても楽しい時間が過ごせます。

雲南市立病院の魅力はなんだと思いますか?

5階のレストランで出てくる食事が美味しいことです。売店でもレストランで作られた弁当が売られているのがとてもありがたいです。それと、5階からの景色はすごく良いです。景色を見ながらゆっくりするだけでも疲れが少しだけ和らぎます。

仕事をするうえで嬉しかったことはありますか?

問診でタブレット端末の操作が分からない方のお手伝いをした際にお礼の言葉をかけていただいた時です。心がとても温かくなりますし、業務をする上でとても励まされます。本当にありがとうございます。

仕事には慣れましたか?

日常業務は少し慣れてきましたが、患者さんなど院外の方と話す時は少し緊張します。医事室で働く以上院外の方とのコミュニケーションをとる機会は必然的に多くなるので、これからまだまだ勉強の毎日です。先輩方の背中を追って頑張ります。

今後の目標を教えてください

私の目標は診療情報管理士という資格を取り病院業務に貢献し、先輩や上司からの温かい指導の下で、雲南市立病院の未来を支えていけるような立派な病院職員になりたいと考えています。

私のとある一日

- 8:30 業務開始
医療費入金処理
- 10:00 カルテの点検
- 12:00 休憩
- 13:00 業務再開
報告書類の作成
- 15:00 各種協議
- 16:00 会議資料作成
- 17:15 業務終了



業務の様子

市内各地に「ブルーサークル」が登場!



11月14日の「世界糖尿病デー」をご存じですか?この日は、世界保健機関(WHO)が「世界糖尿病デー」に指定し、各地で啓発活動が行われています。シンボルマークは、「ブルーサークル」です。国際連合やどこまでも続く空を表す「ブルー」と団結を表す「輪」で、「糖尿病との闘いのため団結せよ」の意味が込められています。雲南市立病院では、例年11月中は、「ブルーサークル」を掲げ、啓発活動を行っています。昨年は、近隣の調剤薬局も「ブルーサークル」を掲げることで、一致団結して糖尿病治療に関わっていくことを示しました。今年は病院、薬局だけでなく雲南圏域のさまざまな医療機関に声掛けをして活動の輪を広げたいと考えています。

糖尿病治療は、本人だけで戦うのには限界があります。家族はもちろん、医療・介護に携わる方々と一緒になって闘うことがポイントとなります。みんなで団結して、糖尿病に立ち向かいましょう。



わが家のHOPE

10月で満1歳おめでとう



うえだ
上田 ひよりちゃん (加茂町)
まさすけ 将輔さん・ひとみさんのお子さん
ひよりちゃんお誕生日おめでとう🎂
たくさん食べて遊んで元気に大きくなっ
てね🌟



きしの ゆうご
岸野 優吾ちゃん (大東町)
なおと 直人さん・ありささんのお子さん
ゆうごくんお誕生日おめでとう🎂
いつも皆を笑顔にしてくれてありがとう!
元気いっぱい大きくなってね🌟



さとう せんじゅうろう
佐藤 巨寿朗ちゃん (木次町)
へいちろう 平一朗さん・めぐみ 恵美さんのお子さん
せんちゃん誕生日おめでとう🎂
お姉ちゃん達と元気に仲良く遊びながら
大きくなあれ🌟



ほそぎ みなと
細木 湊斗ちゃん (木次町)
ひさる 久路さん・まみ 真美さんのお子さん
1歳のお誕生日おめでとう🎂
いつもみんなを笑顔にしてくれるね
これからも元気に大きくなってね🌟

子育てポータルサイト
ゆっくり、子育て。
雲南市

子育て情報をひとまとめにした
サイトです。ぜひ、活用ください。
<http://kosodate-unnan.jp>
または、下記の二次元コードから



令和7年度雲南市二十歳の集い

8月14日、雲南市二十歳の集いを三刀屋文化体育館アスパルで開催しました。
令和7年度に二十歳を迎える263人が出席し、人生の節目に誓いを新たにしました。

式典のオープニングイベントには地元高校生も参画し、「地元を知り、楽しみ、つながる」をテーマに、雲南市内の風景画像を使った「ご当地クイズ～ふるさとの風景を探せ!～」が行われました。地元の懐かしい場所を思い返しながらか楽しみ、改めて雲南市を知る機会となりました。

式典では、石飛市長から「これまでに培った人と人とのつながりを大切にしながら、新たなつながりをつくり、健全で持続可能な社会の創造に貢献いただくことを願っています。変化が激しく、10年後、20年後ですら想像が難しい時代ですが、皆さんには強く、しなやかに生き抜いていただきたい」とエールを送りました。

二十歳を代表して木次町出身の飯塚敦也さんは「二十歳という節目を迎え、私たちは、自分がどう生きるのか、何をしたいかをこれまで以上に真剣に考えていく必要があります。それは決して簡単なことではなく、今すぐ答えが出るものではないかもしれませんが、だからこそ、この問いに向き合う姿勢を忘れずにいたいと思います。私たち一人ひとりの人生は誰のものでもなく、自分のものです。自分で決断し、その決断に責任を持って行動できる人でありたいと強く感じます」と誓いの言葉を述べました。

会場やロビーでは友人との久しぶりの再会を懐かしむ、にぎやかな声が響いていました。

※飯塚さんのあいさつは紙面の都合上、抜粋・編集しています。



※掲載できなかった画像はfacebook、Instagramの市公式アカウントで発信しています。



facebook



Instagram

11月で満1歳(令和6年11月生まれ)のお子さんを募集!

写真に①お子さんの名前(ふりがな)、②お子さんの誕生日、③保護者の名前(ふりがな)、④保護者の名前の掲載希望の有無、⑤住所、⑥電話番号、⑦コメント(40字程度)を添え、郵便またはE-Mailで**10月8日(水)**までに広報広聴課へ送付ください。

郵送される場合の宛て先
〒699-1392 雲南市木次町里方 521-1
雲南市役所広報広聴課「わが家のHOPE」係

E-Mailを送られる場合の宛て先
kouhoukouchou@city.unnan.shimane.jp
(タイトルは「わが家のHOPE」としてください。)

【問】広報広聴課 Tel.0854-40-1015
※スマートフォンで撮影される場合、顔のアップを撮影されるときれいに撮れないことがありますのでご注意ください。
※市ホームページおよび子育てポータルサイトにも「わが家のHOPE」を掲載します。 ※お送りいただく個人情報は「わが家のHOPE」以外の目的には使用しません。
※郵便物またはメールが届きましたら、広報広聴課から「到着確認」の連絡をします。投稿後、当該から連絡がないときは問い合わせください。

市長コラム

スポーツのまちづくりを考える



今夏は、全国高校総体レスリング競技大会が雲南市で開催されました。ひたむきに勝利をめざす若者の姿は感動を生み出しました。令和12年の国民スポーツ大会では、レスリング、ソフトボール(少年男女)、ローイングが雲南市で開催されます。地元高校の部活動のほか、このたび本拠地を愛知県から雲南市に移す女子ソフトボールチームの活躍も期待されます。(17ページの記事参照)

スポーツは、競技として勝利をめざすのは当然ですが、応援する選手が活躍すれば嬉しいものです。しかし、スポーツの言葉の起源が「楽しむ」であるように、勝敗を一つの過程としながら、試合やそこに至るまでの努力、一緒に進んでいくこととして、生活を張りのある生き生きとしたものとしていくことこそ大切にすべきものだと思います。

国民スポーツ大会を契機として、国スポーツ競技以外の種目も含め、スポーツを「楽しみ」と捉えて生きがいと健康づくりに生かしていく文化、いわゆる「スポーツ文化」が育つことを期待しています。

このコーナーでは、自立した社会性のある大人への成長をめざす市内小中学生の姿を伝えていきます。今回は中学生のボランティア活動の様子を紹介します。

【夢】発見ボランティア

夏休みに、市内の中学生が『夢』発見ボランティアとして、市内の事業所などでボランティア活動を行いました。『夢』発見ボランティアは、中学生が「地域や、そこで活動する人たちをより身近に感じること」、「自分にも地域のためにできることがあると気づくこと」が目的です。

この取り組みは令和3年度から始め、今年で5年目になります。参加生徒数は年々増加しており、今年度は31事業所で延べ約160人の生徒が参加しました。受け入れ先として、交流センター、保育所、認定こども園、放課後児童クラブ、図書館、福祉施設など多岐にわたる地域の皆さんにご協力いただきました。



▲園児の遊戯見守り

- 生徒の感想**
- 地域で活動する方々のすごいところ・素敵なおところを見つけた。
 - 自分の好きなこと・できることに気付いた。
 - 身近なところに素敵なお場所があることが分かった。 など
- 受け入れ事業所の声**
- 真剣に取り組む姿勢が印象的だった。(社会教育施設職員)
 - 年齢の近いお兄さんお姉さんが来てくれて、たくさんのおこもが喜んでくれた。(保育所職員) など

今回の活動を通じて、中学生たちは地域の中でさまざまな経験を積み、一人ひとりに新たな気づきや学びがあったと思います。これからも地域の皆さんと共に、こどもたちの学びの場を広げていきます。



▲動物小屋の清掃作業

社会人女子ソフトボールチームの誘致決定

【問】社会教育課 国スポ・全スポ準備室 Tel.0854-40-1073

8月22日、島根県・雲南市・出雲市は島根県庁において、日本女子ソフトボールリーグに参戦している「シトリン宮」(愛知県一宮市)が令和8年から島根県内に本拠地を移転することについて合同記者発表を行いました。

今後は、ソフトボールが盛んな雲南市に拠点を置き、当面の目標である「島根かみあり国スポ・全スポ2030」へ向けて、競技レベルの底上げや普及に取り組む予定です。

県ではチームの活動本拠地や居住地が想定される出雲市・雲南市と連携し、選手の雇用先やスポンサーなどの協力を地元企業に依頼してきました。このたび、支援企業の多大なる協力が得られることとなりチーム支援体制の概略がまとまったことから、正式にチーム移籍が公表されました。

これにより選手・スタッフが来年1月から雲南市を拠点にリーグ活動を開始される予定です。

今回の社会人女子ソフトボールチームの誘致は、市のスポーツ振興だけでなく、外部人材の流入や青少年健全育成など、さまざまな面での効果が期待されることから、市を挙げてチーム支援を行っていきます。市民の皆さんの温かい応援をお願いします。



▲左から、まじま 間島出雲市副市長、石飛雲南市長、おおくに 大國監督、丸山島根県知事、みくしろ 福代島根県ソフトボール協会会長、たけうち 島根県スポーツ協会専務理事

大切なあなたの未来のために
～プレコンセプションケアについて～



こんにちは、**保健師**です。
242

若い世代の皆さんは5年後、10年後の自分自身についてイメージしたことはありますか。
あなたの将来のためにプレコンセプションケアについて考えてみませんか。

プレコンセプションケア (プレコン) ってなに?

プレが「～の前の」、コンセプションが「妊娠・受胎」を意味しており、若い世代が将来のライフプランを考え、日々の生活や健康に向き合うことをいいます。次世代を担うこどもの健康にもつながるため、近年注目されているヘルスケアです。

なぜ今プレコンが大事なの?

① リスクのある妊娠を減らすため

若い女性のやせと肥満の増加、出産年齢の高齢化などから、リスクの高い妊娠が増加しています。

② 将来の不妊のリスクを減らすため

不妊治療を受けるカップルが増加しています。不妊の原因の半分は男性にもあるとされています。男女ともに健康管理をきちんとすることが大切です。

③ 豊かな人生を送るため

性に関する知識や関心が低いと、望まない妊娠、性感染症につながる恐れがあり、自分や家族、次世代のこどもたちの人生にも影響を及ぼす可能性があります。

何から始めたらいいの?

- 今の自分を知ること
→ 適正体重を知る
- 生活習慣を見直してみる
→ バランスのよい食事、適度な運動、禁煙・節酒
- ライフプランを考えてみる
→ 進学、就職、結婚などの人生設計

こどもをもつ選択をするしなないに関わらず、あなたの望むライフプランを叶えるためにまずは自分の生活を振り返ってみましょう!

プレコンについて詳しく知りたい方はこちら⇒



国立成育医療研究センター
【プレコンセプションケアセンター】

【問い合わせ先】 こども家庭支援課 Tel.0854-40-1047

産後女性のからだの痛みを調査
研究所うんなんでは、子育て中の母親に向けた健康支援の取り組みとして育児による運動器の痛みや凝り、疲れなどの改善を目的とした「子育て応援ストレッティング」の普及啓発を、こども家庭支援課と連携しながら進めています。
この一環として、実際のぐらいの母親が痛みを抱えているのか、現状を把握するため、昨年8月から今年7月までの1年間、雲南市の乳幼児健診を受診するお母さんを対象に「産後女性のからだの痛みに関するアンケート調査」を実施しました。

子育て世代の健康づくり
からだの痛みは、痛みによつて日常生活に支障が出るだけでなく、不安やストレスを生み、心の健康にも影響を及ぼします。研究所うんなんでは、子育て世代の皆さんが、心身ともに健康やかに子育てを行えるよう、自身のからだのケアをするきっかけとなるよう、さまざまな媒体を活用した情報発信に取り組んでいきます。

アンケート調査には4カ月の健診受診の母親131人と1歳6カ月健診受診の母親146人、合計277人(回収率94.8%)から回答をいただきました。ご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。
調査の結果、「痛みがある」と回答した方が4カ月健診受診の母親で70.6%、1歳6カ月健診受診の母親で50.7%にのぼり、腰や肩、首に痛みを感じている方が多く見られました。中には「耐えられないほどの痛み」を感じている人もいらっしゃいました。今後はさらに詳細な集計作業を進め、痛みの実態を明らかにしていきます。



健康づくりに役立つ情報や、研究所うんなんの活動を紹介! 身体教育医学研究所うんなん (Tel.0854-49-9050)
※この二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると研究所ホームページが閲覧できます。

今月の税金

- 市県民税・森林環境税【第3期】
 - 国民健康保険料【第4期】
 - 後期高齢者医療保険料【第4期】
- 納期限は10月31日(金)です。

口座振替の方は、前日までに残高を確認してください。

総務省統計局、島根県では、市内で家計調査を実施しています。調査票（家計簿など）の記入により、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにする統計調査です。

10月からは加茂町立原、近松で調査を実施します。

調査員が世帯の名簿の作成や、家計簿の記入の依頼に向

毎月第3日曜日は

うなん家庭の日

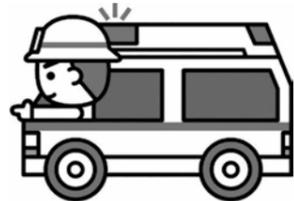
家族で取り組める活動を市公式のfacebook、LINEアカウントで配信中！

10月19日(日)

社会教育課 TEL0854-40-1073

実証事業にご協力いただくために、マイナ保険証の携帯をお願いします。

マイナンバーカードやマイナ保険証の申請手続きは、市



雲南消防本部警防課
TEL 0854-40-0149

民生生活課か総合センター市民福祉課、市民サポート課で行えます。

【問い合わせ先】

◎大東学校給食センター・中央学校給食センター
車いす（2台）
板持 修司さん（大東町）

◎雲南市
寄附金
キリンビール株式会社
（東京都中野区）

次のご寄附をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

ありがとうございます

お知らせ



市役所からの

お知らせ

民生委員・児童委員の
交代

健康福祉総務課
TEL 0854-40-1041

8月1日付けで、次の方が

厚生労働大臣から民生委員・児童委員に委嘱され、主任児童委員に指名されました。

和久利清治さん（加茂町）
【担当区域】
加茂町全域

藤原美紀子さん（加茂町）
【退任者】
令和7年2月6日まで

家計調査にご協力を
お願いします

広報広聴課

TEL 0854-40-1015

【問い合わせ先】
島根県統計調査課
TEL 0852-22-5072

【2026年版
島根県民手帳】の販売
広報広聴課
TEL 0854-40-1015

「2026年版島根県民手帳」を販売しています。購入を希望される方は広報広聴課か総合センターのいずれかでお買い求めください。

【販売価格】
1冊700円（税込）
※支払方法は現金のみ

【販売期限】
令和8年1月30日(金)まで

マイナンバーカードを
活用した救急業務（マ
イナ救急）の実証事業
くらし安全室
TEL 0854-40-1027

◆事業内容
健康保険証の利用登録がされている傷病者のマイナンバーカード（マイナ保険証）を専用の端末で読み取ること

で、必要な情報を速やかに把握でき、円滑な救急活動が行えるかを検証するものです。

【実施期間】
10月1日(水)から令和8年3月31日(火)まで

【マイナ救急を利用できる方】
・マイナンバーカードを所持している方。
・健康保険証を利用登録している方。

・実証事業へ同意いただける方。

市内の
チャレンジを
応援して
ください!!

企業チャレンジ「ソウルドアウト株式会社」

市では令和元年度より、市内外の企業が雲南市を活動のフィールドとして、地域と協働しながら、社会課題の解決をめざしたさまざまなチャレンジを行っています。

これまで15社と連携協定を締結しており、今回はその中のひとつ「ソウルドアウト株式会社（本社：東京都）」の取り組みを紹介します。

ソウルドアウト(株)は、中小企業が抱えるさまざまなマーケティング上の課題解決を支援する企業で、地域や中小企業の認知度向上や業務効率化の支援、デジタル人材の育成支援に取り組まれています。

令和5年度からは市と連携し、デジタルスキルを習得できる講座を開設してデジタル人材育成を行い、その後の就業支援まで一貫して支援する事業「デジチャレ」を実施しています。会社以外の場所でパソコンを使って仕事をするリモートワークを通じて、雲南市に住みながら、都市部企業や事務系の職場に就職できる人材を輩出し、これまで28人が参加し、7人の就職支援に取り組みました。

市では今後も官民連携の取り組みを通じてさまざまなチャレンジを応援していきます。

【問い合わせ先】政策推進課 TEL0854-40-1011



令和6年度受講生募集チラシ

【受講者の声】

- ・受講したことがきっかけで、一歩踏み出す勇気をいただきました。講師の先生をはじめ、受講を支援していただいた皆さんに大変感謝しています。温かくサポートしてくださり、本当にありがとうございました。
- ・私にとってベストな会社に内定をいただきました。これも全て関係者の皆さんのサポートがあったからです。本当にありがとうございます。

国際交流員(CIR) スーキ・パチェコ・ジャン・ポールの異文化交流コーナー

マイストーリーズ My Stories

第46話「天の川」



Hello Unnan!

趣味は車で都会へ行くことですが、僕にとって島根への帰り道は少し特別な時間です。数日間楽しんだ後、都会を抜けて徐々に山間部へ入ると、心が癒されます。やはり大自然の癒しは何にも代えられないです。

そして、都会では体験できない自然の不思議があることも、自然に恵まれている田舎暮らしの特徴です。

8月中旬、江津の花火大会からの帰りに琴ヶ浜周辺に駐車場に車を止め、夜空を撮ろうとしました。すると、なんと天の川が現れたのです。光の川のように並んでいる銀河の星たちが、スマートフォンのカメラでもはっきり撮れました。

それから数日後、コインランドリーで洗濯した帰りに、木次の桜土手に天の川を見に行きました。どうやら、新しい趣味が生まれた感じがし

ます。

こういう壮大な自然を見たのは、人生で初めてでした。しかも天文台ですらない場所です。以前にもこのコーナーで書かせてもらいましたが、島根県の大自然は、本当に日本一の隠れた宝ですね。



「琴ヶ浜と木次で撮った天の川。スマートフォンの技術は本当にすごいですね。」
写真撮影：ジャン スーキ

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

5年に一度、全員参加の統計調査

国勢調査2025

調査期日 **10.1**水

https://www.kokusei2025.go.jp/

総務省統計局・都道府県・市区町村

【問】 広報広聴課 Tel. 0854-40-1015

幅員が狭い道路の法定速度が **30** に変わります

重大事故発生を抑止するために最高速度が変わります 令和8年9月1日から

最高速度規制がない道路は、幅員が狭い道路でも最高速度は60km/hですが、幅員が狭い道路での**重大事故の発生を減少させ、安全対策を図る**ことを目的に、**道路交通法施行令が改正・公布**されました。

中央線のない幅員が狭い道路の例



この場合、標識があるため「40km/h」



この場合、標識がないため「30km/h」

速度が30km/hを超えると重大な傷害を負う確率が急上昇 → **速度を制御して幅員が狭い道路の安全を確保**

問い合わせ 雲南警察署交通課 Tel. 0854-45-0110

※中央線や中央分離帯がある道路の法定速度は引き続き60km/hです。
 ※中央線のない幅員が狭い道路でも、最高速度規制が実施されていればその速度規制が優先されます。

【問】 くらし安全室 Tel. 0854-40-1027

年金出張相談

市民生活課
Tel. 0854-40-1031

出張相談での年金手続き・相談は予約制となります。
 ※予約は、前日（前営業日）までにお申し込みします。

【相談日】
 10月22日(水)、12月24日(水)、
 令和8年2月25日(水) 10時から15時30分まで

【場所】
 雲南市役所本庁舎2階
 202・203会議室

【予約の手順】

- ① 年金手帳など基礎年金番号の分かるものを準備してください。
 - ② 0852・23・9540へ電話をしてください。
 - ③ 音声案内が流れますので「1」の後に「2」を選択してください。
 - ④ 担当者に「雲南市役所での出張相談予約」と伝えてください。
 - ⑤ 担当者の質問に答えてください。
- 【予約・問い合わせ先】**
 松江年金事務所
 Tel. 0852・23・9540

木材利用促進事業費補助金

林業振興課
Tel. 0854-40-1056

市産木材の利用促進と林業・木材産業の持続的発展、脱炭素への取り組みを推進するため、市産木材を利用した住宅・非住宅建築物などの施工に対し、市産木材の使用量に応じて補助金を交付します。

【補助対象者】
 ・市に住民登録を有する方（住宅新築に伴い、工事完了後に雲南市に住民登録される方を含む）
 ・市内に事務所が事業所のいずれかを有する事業者（新たに市内に事務所などを建

塩分をひかえるコツ うんなん愛の減塩プロジェクト

甘いお菓子にも食塩が入っている

甘さを引き立てるための塩が入っていることがあります。食べる前に「食塩相当量」を確かめてみましょう。

【問】 健康推進課 Tel.0854-40-1045

【補助対象建築物など】

- ・市産木材を使用した建築、修繕、内外装木質化、外構木質化
 - ・市産木材建築材（構造材・下地材・造作材）1㎡当り3万円（上限45万円）
 - ・市産木材内外装材・市産木材外構材 1㎡当り3千円（上限15万円）
- たに市内に事務所などを建築する事業者を含む）
- 【補助金額】**
 市産木材を使用して施工する建築物などの新築、改築、増築、修繕、内外装木質化、外構木質化

屋外に看板やポスターを設置png皆んへ

都市計画課
Tel. 0854-40-1064

島根県では良好な景観の形成などを目的に屋外広告物条例を定め、各市町村で設置許可や違反広告物対策を行うなど、必要な規制・誘導を行っています。

これから屋外に看板やポスターを設置される場合は、次の要点を参考に屋外広告物の適正な設置に協力をお願いします。

【屋外広告物条例要点】

- (1) 屋外広告物を設置するには事前に市町村長の許可が必要で。
 - (2) 屋外広告物の種類に応じて面積や高さなどの基準があります。
 - (3) 著しく破損したもののや倒壊のおそれがある屋外広告物は設置できません。
 - (4) 屋外広告物設置工事の発注は屋外広告業登録済みの屋外広告業者に行いましょう。
 - (5) 禁止地域には屋外広告物を設置できません（禁止地域の例：第1種低層住居専用地域内、古墳、墓地、火葬場および葬祭場など）。ただし、以下の屋外広告物を設置できる場合があります。詳細は問い合わせください。
 - (6) 設置後の屋外広告物は、適切に補修を行うなどして良好な状態で管理しましょう。
 - (7) 必要なくなった屋外広告物は速やかに撤去しましょう。
- また、既に設置されている場合も、次の要点を参考に安全点検を行い、屋外広告物の適正化に努めましょう。

暮らし・手続き

犬の登録と 狂犬病予防注射

環境政策課
Tel. 0854-40-1033

犬を飼育するときは、狂犬病予防法に基づき、犬ごとに市窓口へ届け出をする義務があります。

併せて、犬の飼い主は毎年4月1日から6月30日までに1回、飼っている犬に狂犬病予防注射を接種すること、接種したことを市へ届け出ることが義務付けられています。

まだ飼い犬の狂犬病予防注射を接種していない場合は、動物病院で接種し、環境政策課か総合センターのいずれかに届け出をお願いします。届け出がない場合は、予防注射接種の案内はがきを送付することがあります。

また、高齢や病気のため、動物病院で接種猶予の診断を受けられた場合、または飼い犬が亡くなった場合も、環境政策課か総合センターのいずれかに届け出をお願いします。

毎月19日は食育の日

手を洗おう

食品の安全性等についての基礎的な知識をもち、自ら判断し、行動する力を養いましょう。

【出典：農林水産省】

健康推進課 Tel.0854-40-1045

子育て・保健・福祉

高齢者や障がい者の虐待を防ぎましょう

長寿障がい福祉課

TEL 085440-1042

◆どんなことが虐待なの？

- 身体的虐待…たたく、つねる、殴る、蹴るなど
- 心理的虐待…暴言、無視など
- 放置・放任（ネグレクト）…食事を与えない、入浴させない、必要な介護や世話をしないなど
- 経済的虐待…日常生活に必要なお金を渡さない、使わせないなど
- 性的虐待…性的な嫌がらせ、わいせつ行為など

◆こんなことも「虐待」です！

- 行動を制限するために、鍵をかけて部屋に閉じ込める。
- 年金や預貯金を本人の意思や利益に反して使用する。
- 他の家族が虐待をしていることを放置する。
- 排泄の失敗や介助のために、下半身を裸や下着のままに放置する。

◆虐待かな？と思ったら…

まずは、連絡・相談してください。虐待を発見した人には通報する義務があります。

虐待が起きている場合、早期に発見することで、虐待の深刻化を防ぐことができます。通報された方の情報が漏れることはありません。

◆介護を抱え込んでいませんか？

虐待を未然に防止するには、高齢者や障がいのある方自身の悩みや家族の介護上の不安・不満などを解消、軽減することが大切です。介護は長期にわたることも多く、サービスの利用や専門機関を活用して高齢者、障がいのある方、家族ともに無理なく生活しましょう。

高齢者の介護や虐待などに関する相談は地域包括支援センターで受け付けています。

また、障がいのある方の介護や虐待などに関する相談は長寿障がい福祉課で受け付けています。

気軽に相談してください。

【相談・問い合わせ先】

地域包括支援センター

TEL 085447-7799

長寿障がい福祉課

TEL 085440-1042

高齢者新型コロナワクチン予防接種 高齢者インフルエンザ予防接種



10月から個人の重症化予防やまん延予防を目的として、高齢者を対象とした定期予防接種が始まります。接種後、ウイルスに対する抵抗力がつくまでに2週間程度かかりますので、なるべく早めに受けましょう。

※接種は義務ではありません。

区分	高齢者新型コロナワクチン予防接種	高齢者インフルエンザ予防接種
自己負担額	6,000円（期間中1回のみ）	2,000円（期間中1回のみ）
実施期間	10月1日～令和8年1月31日	
対象者	<p>市内に住民登録があり、接種日当日に</p> <p>①満65歳以上の方</p> <p>②満60歳以上65歳未満の方で、次の状態に該当する方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓・腎臓か呼吸器のいずれかの機能に障がいがあり、身の回りの生活に極度の制限がある方 ・ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方 	
接種方法	<ul style="list-style-type: none"> ・接種を受ける医療機関へ事前に予約をしてください（接種日などは予約時に確認してください）。 ・医療機関には診療時間内にお問い合わせください。 ・接種を受ける際は、身分証明書（運転免許証、マイナンバーカード、健康保険証など）、自己負担金を持参してください。 ・自己負担金は接種日当日に医療機関に支払ってください（生活保護を受けている方は、受給者証明書を提出することで無料になります）。 ・新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの接種間隔に制限はなく、同時接種もできます。医療機関とご相談ください。 	
予診票	<ul style="list-style-type: none"> ・接種を受ける医療機関に備え付けの予診票を使用してください。 ・予診票の記載事項をよく読んで記入し、接種を受けてください。 ・個別の通知や予診票の送付は行いません。 	

【問】健康推進課 TEL 0854-40-1045

■ 10月は臓器移植普及推進月間
骨髄バンク推進月間

■ 10月10日は目の愛護デー



マスコットキャラクター まごころば

移植医療について考えてみませんか？

保健医療政策課
TEL 085440-1040

移植医療は、関係者だけでなく、第三者の方からの善意、そして社会の理解と支援により成り立っています。

臓器提供の意思表示は、マイナンバーカード・運転免許証・インターネットによる意思登録・臓器提供意思表示カードにより行うことができます。

◆ご自身の意思を家族で話し合います。

◆【問い合わせ先】
しまねまごころバンク
TEL 085322-2556

10月は里親月間です！ 里親になりませんか

～子どもたちに家庭のぬくもりを～

さまざまな事情により家族と一緒に生活することができない子どもたちがいます。里親とはこうした子どもたちを自分の家に迎え入れ、家庭的な環境の中で愛情を込めて養育して下さる方です。里親の家庭で愛情に包まれて家族の一員として暮らすことにより、子どもたちは一人の人間として大切にされ、愛されているという感覚を持ちながら育つことができます。

～子どもたちのために、あなたにもできることがあります～

里親には、子どもが家族と一緒に生活できるようになるまで養育する「養育里親」と養子縁組により養親となることを希望する「養子縁組里親」があります（このほかに専門里親、親族里親があります）。子どもが好きであり、愛情と熱意を持って、真心を込めて養育して下さる方を求めています。養育里親の場合は、長期の養育だけでなく、月に1～2回程度、主に土日や長期休み中に数日間といった短期間の家庭生活体験をさせて下さる方も求めています。

里親になるためには特別な資格は必要ありませんが、必要な研修を受講することや里親を希望する方とその同居人が欠格事由などに該当しないこと、経済的に困窮していないことが必要です。

里親となるまでの流れ（養育里親の場合）



●里親制度に関心がある方はお問い合わせください。[出雲児童相談所] TEL 0853-21-0007

(参考) ■欠格事由など：里親希望者および同居人が

- ①禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わり、または執行を受けることがなくなるまでの者
- ②児童福祉法等で罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、または執行を受けることがなくなるまでの者
- ③児童虐待ほか児童の養育に関し著しく不適当な行為を行った者
- ④暴力団関係者

【問】子ども家庭支援課 TEL 0854-40-1067

「思いやり駐車場」を知っていますか？

島根県では、障がいのある方や、けがや病気などで歩行が困難な方の駐車スペースを確保する「思いやり駐車場制度」を導入しています。この駐車スペースを利用するには、利用証が必要です。

「10月1日から妊産婦やけがなどで歩行困難な方の利用期間が拡充されます」

- 妊産婦：妊娠7ヵ月から産後1年間まで → 母子健康手帳取得時から産後2年間（多胎児の場合は、産後3年間）
- 傷病などで歩行困難な方：最大1年で必要な期間 → 傷病などで回復の見込みがない方の利用証には有効期間なし

【利用証の交付を受けるには？】

要件に当てはまることを確認できる書類を長寿障がい福祉課か総合センター市民福祉課・市民サポート課に持参してください。利用証はその場で交付します。

【利用証の交付を受けることができる方】

- 歩行が困難であり以下に当てはまる方
 - ・身体障害者手帳をお持ちの方（障害区分、等級によっては交付できない場合があります）
 - ・療育手帳をお持ちの方で、障害程度「A」の方
 - ・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方で、障害等級「1級」の方
 - ・介護保険被保険者証の要介護状態区分等の欄に「要支援1」以上の記載がある方
 - ・特定疾患医療受給者証か、小児慢性特定疾患医療受給者証のいずれかをお持ちの方
- けがや病気などで歩行が困難な方
- 妊産婦

申請に必要なものなど、詳細は島根県ホームページに掲載しています。

利用証（見本）



（県ホームページ）

【問】長寿障がい福祉課 Tel.0854-40-1042

イベント情報

「ハロウィン」/悩み事出張相談会in雲南

【日時】10月14日(火)10時から16時まで

生活に関する悩みや仕事に関する不安、悩みごとを抱えた方を対象に、解決に向けて適切なアドバイスや必要な窓口の紹介を行います。

【場所】中国労働金庫雲南支店

【相談料】無料

【注意】会場に駐車場はありません。

【問い合わせ・申込先】

くらしサポートセンター島根

Tel.0120-969-234

「女性のための再就職応援セミナー」開催

【日時】10月29日(水)9時から16時40分まで

働きたいけどブランクがあつて何から始めていいのかわからない。子育て中で就職したいが一歩を踏み出せない。そんな女性を応援するセミナーを開催します。

【日時】10月24日(金)10時から12時まで

【場所】労働会館（松江市）

【定員】15人程度

【参加費】無料

【申込締切日】10月23日(木)

【問い合わせ・申込先】

就職サポートセンター島根

（レディース仕事センター松江）

Tel.0852-616117

新入社員秋期合同研修

【日時】10月24日(金)10時から16時40分まで

【場所】中国労働金庫雲南支店

【相談料】無料

【注意】会場に駐車場はありません。

【問い合わせ・申込先】

くらしサポートセンター島根

Tel.0120-969-234

【開催日時・場所】

10月28日(火)9時から16時40分まで

【出雲会場】10月29日(水)9時から16時40分まで

【申込締切日】10月16日(木)

【受講料】1300円

【問い合わせ・申込先】

島根県立東部高等技術校

Tel.0853-282734

募集

市営住宅などの入居者募集

【募集期間】10月6日(月)から10月14日(火)17時締切

【募集団地】10月1日(水)に市ホームページ、島根県住宅供給公社ホームページへ掲載します。

【決定方法】選考により入居者を決定します。

【公社定住促進賃貸住宅】随時募集しています。

【問い合わせ・申込先】雲南住宅管理事務所

8時30分から17時15分まで

（土・日・祝日を除く）

Tel.0854-477151

【日時・会場】10月19日(日)10時から15時まで

【料金】無料

【相談料】弁護士、労働組合役員、会社経営者など

※秘密は厳守します。

【対象】労働者、事業主どちらの相談も受け付けます。

【申込締切日】10月17日(金)

【問い合わせ先】島根県労働委員会事務局

Tel.0852-225450

【利用団体】活動歴1年以上など一定の条件を満たすNPO法人、市民活動団体、一般社団法人などが対象です。

※基金登録団体としての登録手続きが必要です。

【問い合わせ先】島根県NPO活動推進室

Tel.0852-225096

【問い合わせ先】

島根県立東部高等技術校

Tel.0853-282734

【日時・会場】10月19日(日)10時から15時まで

【料金】無料

【相談料】弁護士、労働組合役員、会社経営者など

※秘密は厳守します。

【対象】労働者、事業主どちらの相談も受け付けます。

【申込締切日】10月17日(金)

【問い合わせ先】島根県労働委員会事務局

Tel.0852-225450

【利用団体】活動歴1年以上など一定の条件を満たすNPO法人、市民活動団体、一般社団法人などが対象です。

※基金登録団体としての登録手続きが必要です。

【問い合わせ先】島根県NPO活動推進室

Tel.0852-225096

【問い合わせ先】

島根県立東部高等技術校

Tel.0853-282734

【日時・会場】10月19日(日)10時から15時まで

【料金】無料

【相談料】弁護士、労働組合役員、会社経営者など

※秘密は厳守します。

【対象】労働者、事業主どちらの相談も受け付けます。

【申込締切日】10月17日(金)

【問い合わせ先】島根県労働委員会事務局

Tel.0852-225450

【利用団体】活動歴1年以上など一定の条件を満たすNPO法人、市民活動団体、一般社団法人などが対象です。

※基金登録団体としての登録手続きが必要です。

【問い合わせ先】島根県NPO活動推進室

Tel.0852-225096

【問い合わせ先】

島根県立東部高等技術校

Tel.0853-282734

【日時・会場】10月19日(日)10時から15時まで

【料金】無料

【相談料】弁護士、労働組合役員、会社経営者など

※秘密は厳守します。

【対象】労働者、事業主どちらの相談も受け付けます。

【申込締切日】10月17日(金)

【問い合わせ先】島根県労働委員会事務局

Tel.0852-225450

【利用団体】活動歴1年以上など一定の条件を満たすNPO法人、市民活動団体、一般社団法人などが対象です。

※基金登録団体としての登録手続きが必要です。

【問い合わせ先】島根県NPO活動推進室

Tel.0852-225096

【問い合わせ先】

島根県立東部高等技術校

Tel.0853-282734

市内の古文書調査を行っています

文化財課

Tel.0854-401075

市内に残る古文書などの調査・収集を行っています。ご自宅や神社、お寺などに古い資料がありましたら、ぜひ情報をお寄せください。また、古文書などを捨てたり処分したりする際は、文化財課へご相談ください。

調査対象は、古文書や絵図、近代（明治・大正・昭和期）の資料などで、市内の風景が分かる古写真や絵葉書、雲南市ゆかりの人物に関するものなどです。



例：昭和初期の峯寺の絵葉書

どの皆さんからの寄附金を原資に「しまね社会貢献基金」を造成し、社会貢献活動を行う団体へ活動経費の助成を行っています。

【支援事業】

◆団体活動支援事業

通年事業や団体運営に係る費用を集める手段として活用できます。

◆クラウドファンディング事業

特別の事業やイベントなどの実施のため、追加での資金集めの手段として活用できます。

◆寄附者設定テーマ事業

自力での資金調達が困難である団体を想定し、寄附者の希望するテーマに基づく事業を支援します。

【利用団体】活動歴1年以上など一定の条件を満たすNPO法人、市民活動団体、一般社団法人などが対象です。

※基金登録団体としての登録手続きが必要です。

【問い合わせ先】島根県NPO活動推進室

Tel.0852-225096

【問い合わせ先】

島根県立東部高等技術校

Tel.0853-282734

【日時・会場】10月19日(日)10時から15時まで

【料金】無料

【相談料】弁護士、労働組合役員、会社経営者など

※秘密は厳守します。

【対象】労働者、事業主どちらの相談も受け付けます。

【申込締切日】10月17日(金)

【問い合わせ先】島根県労働委員会事務局

Tel.0852-225450

【利用団体】活動歴1年以上など一定の条件を満たすNPO法人、市民活動団体、一般社団法人などが対象です。

※基金登録団体としての登録手続きが必要です。

【問い合わせ先】島根県NPO活動推進室

Tel.0852-225096

【問い合わせ先】

島根県立東部高等技術校

Tel.0853-282734

【日時・会場】10月19日(日)10時から15時まで

【料金】無料

【相談料】弁護士、労働組合役員、会社経営者など

図書館だより

市立図書室の利用案内

三刀屋図書室 (永井隆記念館内)
電話：0854-45-2239
開館時間：9:00～17:00
休館日：毎週月曜日、祝日の翌日
※13日(月・祝)は開館します。
14日(火)、15日(水)、18日(土)、
19日(日)は休館します。

吉田図書室 (吉田交流センター内)
電話：0854-74-0219
開館時間：8:30～17:00
休館日：毎週土・日曜日、祝日

掛合図書センター「陽だまり館」
(掛合交流センター内)
電話：0854-62-0189
開館時間：火・金曜日 8:30～18:00
水・木・土曜日 8:30～17:00
休館日：毎週日・月曜日、祝日

市立図書館の利用案内

木次図書館 Tel.0854-42-1021 開館時間：10:00～18:00

10月の休館日 毎週月曜日、振替休館日：14日(火) 図書整理日：31日(金)

イベント案内 ☆ろうそくのおはなし会 26日(日) 14:00～14:40(要申し込み)

大東図書館 Tel.0854-43-6131 開館時間：10:00～18:00

10月の休館日 毎週金曜日、13日(月・祝) 図書整理日：11月1日(土)

イベント案内 ☆古本再生市 19日(日)10:00～16:00

☆こぐまちゃんくらぶ (わらべうた遊びの会 対象：乳幼児とその家族の方)

20日(月)10:30～(30分程度) (要申し込み)

*毎週月曜日午前中(10:00～12:00)は「いいよのじかん」です。



市立図書館 ホームページ Facebook

加茂図書館 Tel.0854-49-8739 開館時間：10:00～18:00

10月の休館日 毎週木曜日、13日(月・祝) 図書整理日：31日(金)

イベント案内 ☆図書館まつり 12日(日)10:00～12:00

古本市やおはなしチューリップたのしい絵本の会など 詳細はチラシをご覧ください。
☆りんごの棚 おはなし会&体験会 25日(土) 10:00～11:30 (おはなし会は10:30～)

新着の本(抄)

市内図書館どこでも借りることができます。貸し出し中の場合は予約(取り寄せ含む)ができます。各館へ問い合わせください。本の検索には、上記二次元コードの市立図書館ホームページ《蔵書検索》を利用してください。

▼ワン・ライン編「出雲・石見・隠岐 島根方言集成」▼王谷 晶「ババヤガの夜」▼東野圭吾「マスカレード・ライブ」▼中山七里「バンクハザードによろこび」▼桐野夏生「ダークネス」▼背筋「近畿地方のある場所について」▼逢坂冬馬「ブレイクショットの軌跡」▼町田そのこ「虫たちの祈り」▼窪 美澄「給水塔から見た虹は」▼寺地はるな「リボンちゃん」▼真山 仁「アラート」▼今野 敏「エンドロール警視庁 FC ③」▼あさのあつこ「夫婦じまい えにし屋春秋③」▼吉田悠軌「教養としての名作怪談」▼小泉八雲「小泉八雲の怪談」▼リース ボウエン「貧乏お嬢さまと毒入りタルト」▼楊双子「四維街一号に暮らす五人」▼穂村 弘「満月が欠けている」▼酒井順子「松本清張の女たち」▼ヨシタケシンスケ「まだ大どろぼうになっていないあなたへ」▼たかせさと美「ほぼ365日グルテンフリー献立日記」▼山田 さとる「脂質起動」▼佐々木俊尚「フラット登山」▼平藤喜久子「物語をつくる神話解剖図鑑」▼川添 愛「『わかってもらう』ということ」▼飯塚理恵「35歳の哲学者、遺伝子がんを生きる」▼京都新聞取材班「自分分は『底辺の人間』です」▼荻上チキ「大日本いじめ帝国」▼三木孝昭「だれでもできる有機のイネづくり」▼斎藤 進「もっと上手に小さい畑」▼岩波金太郎「はじめての自然養蜂」▼門川紳一郎「ぼくのデフブラいふ」▼農山漁村文化協会「田舎のあき家活用読本」▼和田康子「基本が身につくはじめての小筆書道」▼早川タダノリ「『日本スゴイ』の時代」

くらしの消費生活窓口



慌てないで! 災害後に増える住宅修理のトラブル

内容

突然事業者が来訪し「お宅の屋根瓦がずれていたのが見えた。地震の影響かもしれない。3千円で点検する」と言われ、地震の後で影響が心配だったので依頼した。翌日点検してもらったところ、屋根瓦の写真を見せられ「放置すると雨漏りがして大変なことになる」と屋根工事を勧められ、約60万円で契約した。しかし、慌てて高額な契約をしたことに不安を抱いたので解約したい(80歳代)。

ひとこと助言

- ・台風や大雨・大雪、地震などの自然災害が毎年のように全国各地で起きています。自然災害の発生後は、災害に便乗した悪質商法のトラブルが多くなる傾向があります。
- ・「今直さないと大変なことになる」などと不安をあおり、契約をせかす手口が見られます。
- ・工事の必要性、工期や費用が適正なのか、すぐに判断するのは難しいため、その場では契約せず、複数の事業者から見積もりを取って検討しましょう。不要な場合はきっぱり断りましょう。

○事業者からの訪問や電話勧誘を受けて契約した場合、クーリング・オフできる可能性があります。不安や不明な点があれば、一人で悩まずに、すぐに雲南市消費生活センターなど(消費者ホットラインは局番なしの188)に相談してください。

【相談・問・出前講座依頼先】雲南市消費生活センター Tel.0854-40-1123 Fax 0854-40-1039

日本遺産シリーズ

出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～

地域に点在する文化や風習、文化財などを一つの「ストーリー」として文化庁が認定している日本遺産。そんな日本遺産に、この地域のたたら製鉄(日本古来の鉄づくり)に関するストーリーが「出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～」として認定されています。

ここでは、日本遺産の構成地域である安来市・雲南市・奥出雲町が共同して、日本遺産の構成文化財を紹介いたします。

民謡安来節(安来市)

安来港は鉄の積出港として栄え、北陸など各地から訪れる多くの船乗りでにぎわいました。そして、船乗りたちがうたう民謡や船歌などの影響を受けて、民謡安来節が誕生しました。歌詞には、鉄を馬や船で運ぶ様子や、鉄鋼会社で鉄が作られる様子など、鉄に関する内容が出てきます。また、大きなざるを持ってコミカルに踊る「どじょうすくい」の動きは、たたら製鉄のために川底の砂鉄を取る(土壌をすくう)動作だという説もあります。安来節演芸館で、安来節の公演や体験をぜひお楽しみください。



民謡安来節



安来節演芸館

【問】観光振興課 Tel.0854-40-1054

市内の秋祭り

第40回 掛合町 ふるさとまつり

とき 10月12日(日)

9:00 ~ 13:10

ところ 掛合中学校周辺

内容 むかで2025、掛合太鼓、掛合音頭、出店など

【問】 掛合町ふるさとまつり実行委員会
(掛合総合センター市民サポート課内)

Tel.0854-62-0300

第43回 大東よいとこ祭

とき 10月19日(日)

10:00 ~ 15:00

ところ 大東地域交流センター周辺

内容 ステージイベント、テント村、文化展、各種大会など

【問】 大東よいとこ祭実行委員会事務局
(大東総合センター自治振興課内)

Tel.0854-43-8160

第21回 ななかまどフェスタ

とき 10月26日(日)

9:30 ~ 15:00

ところ 吉田交流センター周辺

内容 ステージイベント、出店、作品展示

【問】 ななかまどフェスタ実行委員会
(吉田総合センター市民サポート課内)

Tel.0854-74-0211

第43回 きすきがっしょ祭り

とき 11月2日(日) 10:00~14:00

ところ 木次小学校周辺

内容 ステージイベント、テント市、作品展など

【問】 きすきがっしょ祭り実行委員会
(木次総合センター自治振興課内) Tel.0854-40-1080

第1回 加茂よっといで新そば祭り

とき 11月9日(日) 10:00~15:00

ところ 加茂交流センター周辺

内容 ステージイベント、マルシェ、仮装パレード、作品展示、そばの早食いタイム競争など

【問】 加茂よっといで新そば祭り実行委員会
(加茂交流センター内) Tel.0854-49-8380

雲南市総合社会福祉大会

とき 10月10日(金) 13:30~15:45

ところ 木次経済文化会館チェリヴァホール

式典 長寿者表彰、功労者表彰など

講演会 (演題) 「認知症になっても安心して暮らしていけるまち」
(講師) ^{いまおか だいすけ} 今岡 大輔さん (奥出雲コスモ病院精神科医師)

【問】 健康福祉総務課 Tel.0854-40-1041

みんな集まれ！き^{すき}駅フェス2025

今年は、元気いっぱい！木次線まつり、鉄道記念日イベント、秋の賑わい市、きすきマルシェに加え、木次まちなかプロジェクトを同時開催します。



昨年の様子

とき 10月12日(日)
10:00~15:00

ところ 木次駅周辺

鉄道模型展示や芸備線・木次線カレンダーの販売をはじめ、運転シミュレーター体験、子ども制服体験、テント屋台やキッチンカーの出店、子ども縁市、古本市、ハロウィンイベントやステージイベントが開催されます。ぜひお出かけください。

【問】 元気いっぱい！木次線まつり実行委員会
(チェリヴァホール内) Tel.0854-42-1155

コトリエット秋のイベント

出雲農林高校の移動動物園が中心市街地活性化施設コトリエットにやってきます。同時開催でミニ露店市も開催されます。

ところ 三刀屋公園「第一広場」コトリパーク

入場料 無料

とき 10月26日(日) 10:00~14:00

【問】 雲南市中心市街地活性化協議会
Tel.0854-45-0008

●市報うんなん No.251 2025年10月発行
発行・編集／雲南市役所 政策企画部 広報広聴課
〒699-1392 雲南市木次町里方521-1
TEL 0854-40-1015 FAX 0854-40-1029
✉ unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

人口 33,958人 (-22人)

男性 16,464人 (-22人)

女性 17,494人 (±0人)

世帯数 13,554世帯 (+8世帯)

令和7年9月1日現在 (先月比)

